

ふれ愛シネマ 資料No2

西条市社会福祉協議会

ふれ愛シネマ

市民の皆様が懐かしの映画の視聴をとおして楽しく交流することで地域コミュニティの醸成を図り「ふれあいあふれる福祉のまちづくり」を進めることを目的とするものです。

「ふれ愛シネマ」事業は、赤い羽根共同募金の配分金によって実施しています。

振り込め詐欺被害にあわないために

※警視庁 HP より抜粋

「オレオレ詐欺」とは・・・

「おれだよ、おれ。」と電話をかけ、電話に出た者がうっかり「〇〇ちゃん？」などと問い直すと、「そう、〇〇。実は事故にあってお金が必要になった。すぐにお金を振り込んで。」などと言い、指定した銀行等の口座に現金を振り込ませるやり口からその名前がついた“詐欺”事件です。

平成 20 年中の「振り込め詐欺」の被害件数は、3,718 件で、被害総額は約 60 億円、そのうち「オレオレ詐欺」は、2,021 件で全体の 54.4%を占めています。

振り込め詐欺の手口

- お金が必要な理由は、借金の返済、事件(他人にケガをさせた、高価な物を壊した)や交通事故の示談金、弁済費など様々。

【例】 「お母さん(お父さん)、お金をすぐに振り込んで。副業で浄水器の仕事をしていただけで資金繰りがうまくいなくて会社のお金を使い込んでしまったんだ。今、会社に監査が入っているから、ばれたら警察沙汰になって逮捕される。会社もクビになる。」

「お母さん(お父さん)、お金を貸して。すぐにお金を返さないといけないんだ。」「友達が借金するときに保証人になってしまい、友達が返済できないので、自分が返済することになった。」

- 警察官や弁護士、鉄道関係者を名乗り、痴漢による逮捕を免れるための示談金を請求する。

【例】 「△△警察の□□です。お宅のご主人(お子さん、お孫さん)が痴漢をして逮捕されています。相手の人が示談にしてもいいと言っているので、至急〇〇万円を振り込んでください。」「すぐに振り込まないとマスコミにばらす。」と言って困惑させる場合も。

騙しのテクニック

- 事前に身内を名乗り「携帯電話の番号が変わったから控えておいて」等と連絡しておき、電話番号を

控えさせ、騙しの電話をするときの警戒感を払拭させる。

- あらかじめ、「風邪をひいて声が変わったと思うけど・・・。」と言っておき、相手に疑問を抱かせない。
- 複数の人が登場する劇団型で、もっともらしく話を展開する。

- 1 ご主人やお子さん、お孫さんなど、身内を装う者
- 2 警察官や弁護士、鉄道関係者を装う者
- 3 痴漢の被害者の身内や交通事故の当事者を装い、被害を受けたと主張する者

など、役割を分担し、実に巧みなグループワークで金銭をだまし取ろうとします。人を不安に陥れるようにもっともらしくストーリーが展開され、また、タイミングよく相手が電話が変わるので、そのペースに巻き込まれてしまい、冷静に考える余裕をなくして、オレオレ詐欺の手口を知っている人でもだまされてしまうのです。

- 銀行等の閉店間際に振り込みを要求してきて、「時間がない」と言って急がせる。
- 銀行の振り込みだけでなく**バイク便業者や直接代理人を自宅に向かわせ、現金を手渡しさせたり、小包郵便物による送付等の受け渡し方法を指定してくる場合もあります。**

「架空請求詐欺」、「融資保証金詐欺」、「還付金等詐欺」とは

架空請求詐欺	郵便、インターネット等を利用して不特定多数の者に対し、架空の事実を口実とした料金を請求する文書等を送付するなどして、現金を預金口座等に振り込ませるなどの方法によりだまし取る手口です。
融資保証金詐欺	実際には融資しないにも関わらず融資する旨の文書等を送付するなどして、融資を申し込んできた者に対し、保証金等を名目に現金を預金口座等に振り込ませるなどの方法によりだまし取る手口です。
還付金等詐欺	税務署や区役所等を名乗り「税金や医療費等を返還します」「今日が手続きの締め切りです」「ATMで手続きができます」等とコンビニエンスストア等に設置してあるATMに行かせ、携帯電話で還付手続きを指示するふりをし、実は犯人の口座にお金振り込む手続きをさせる手口です。

こんなメールやハガキに要注意！

- 携帯電話にきた**請求メール**に要注意！

携帯電話に「総合情報サイト情報料未納」・「退会手続きがされていない」・「個人情報削除金」等、心当たりのない請求メールが来た場合**架空請求詐欺**の疑いがあります。

メール記載の連絡先に電話をした場合「給料・財産を差し押さえる」・「法的処置をとる」・「このままだと料金が増える」等と、現金の振り込みを要求されます。

- 融資を誘う**ダイレクトメール**に要注意！

「簡単審査・低金利」「だれでも融資・担保不要」等が記載されたDMが自宅に届いた場合**融資保証金詐欺**の疑いがあります。

DM記載の連絡先に電話をした場合「保証金が必要」・「信用実績をつくるため」・「返済能力

を確認する」等と、現金の振り込みを要求されます。

○ 消費者生活相談センター等になりました**ハガキ**に要注意！

自宅に「料金の未払い・契約不履行」「管轄裁判所に訴状申し立て」「差出人〇〇消費者生活相談センター」等と心当たりのないハガキ・手紙が届いた場合、**架空請求詐欺**の疑いがあります。ハガキ等に記載されている連絡先に電話をした場合、「料金未払い・契約不履行で裁判になっています。」「弁護士を紹介します」等と言われ、弁護士になりました者から現金の振り込みを請求されます。

被害にあわないための防犯対策

- ご家族の連絡先を知っていますか？この種の電話を受けたときは、それが事実かどうか確認しなければなりません。そこで、緊急時の連絡先として、本人の携帯電話番号や勤務先の電話番号、友人の連絡先などを把握しておき、いつでも確実に連絡が取れるようにしておきましょう。
- 電話がつながらない、連絡先がわからないなどで、連絡が取れない場合には、すぐに警察に相談してください。
- 税金等の還付金等詐欺に気をつけましょう。
役所を名乗り、ATMを操作させお金を返すことはありません。「役所」「還付金・給付金」「携帯持ってATM」と電話がかかってきたら警察に相談してください。

事実かどうか、必ず確認しましょう。

電話を受けた方へ

- 動揺しない、慌てない。
電話を切ったあと、すぐに事実を確認する気持ちでいてください。
- 電話を受けたとき、この話を思い出し、「詐欺かもしれない！」と疑ってみてください。
- 警察が示談の仲介をすることはありません。
- 弁護士や保険会社が事故、交通事故直後に示談金の振込みを勧めることはありません。
- **すぐにお金を振り込まない。**
お金を振り込む前に、自分の家族や親戚又は警察に相談してください。
- 脅迫めいた言動を受けることもあります。毅然とした態度で接し、すぐに警察に通報してください。
- 不審に思うことや心配に思うことがあれば、すぐに警察に連絡してください。



ご両親・身内の方が「振り込め詐欺」の被害にあわないために

- 被害をなくすには、家族や社会が「振り込め詐欺」を許さない環境づくりが大切です。
最近、別居しているご両親や身内の方と話していますか？
「そういえば、最近あまり話をしていない。」という方は連絡をとり、近況だけでなく、振り込め詐欺の手口を話していただき、被害にあわないように注意を呼びかけてください。

そのときに「合言葉」を決めたり、「ATM 利用限度額の引き下げ」を勧めてください。
いざというときに役に立ったり、被害を最小限にすることに効果があります。

合言葉

- ・ 家族や身近な親戚しか知らない事実
- ・ 慌てていても簡単に思い出せること
- ・ 絶対に忘れない言葉、出来事

「慌てて忘れた」、「そんなことより」、「今、それどころではない」等と言って合言葉よりも、自分の言いたいことを優先させるときは、ためらわず電話を切りましょう。それは、十中八九「振り込め詐欺」と考えてよいでしょう。

犯人は、同級生名簿等を入手して、住所や電話番号、家族の名前を知っている可能性があるの
で、そのような情報だけで信じることをないように、

- ・ 結婚記念日
- ・ 旅行の思い出
- ・ 好物、嫌いな食べ物

など、学校名簿、会員名簿等に公開していない事実を選びましょう。

「ATM 利用限度額の引き下げ」

一日にATMで引き出し、振り替え等の手続きできる金額を引き下げましょう。万が一被害に遭った時、被害額を最小限にすることができます。

だまされません！ 振り込め詐欺撃退法



振り込め詐欺は、ご両親や身内の方がお子さんやお孫さんを心配する心の隙に入り込み、多額の現金を振り込ませる悪質な犯罪です。

少しでも「なにかおかしい？」と思ったら最寄りの警察に連絡してください。

被害にあわれている方のほとんどは、

「振り込め詐欺については知っていたが、まさか自分が被害にあうとは思っていなかった。」と話しています。

「携帯電話の番号が変わったから控えておいてよ。」などと、あらかじめその携帯電話番号を電話で伝えて、後日その電話番号にかけさせる悪質巧妙な手口が増えていますので、人ごとと思わず、冷静な判断ができるときに、撃退法をご家族で検討してください。

■ その1

留守番電話の活用

- 常時「留守番電話」にセットしておき、電話がかかってきてもとりあえず「留守番電話」で受けましょう。身内の方と「合言葉」を決め、相手が確認できたら受話器を取りましょう。

※一人暮らしの方は、自分の名前を先に名乗るのはやめましょう

■ その2

ナンバーディスプレイ機能の活用

■ その3

「ATM 利用限度額」の引き下げ